

令和6年7月10日

長野県知事 様

令和5年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和3年度から令和6年度	
会社名	株式会社三六組	
住所	〒395-0044 長野県飯田市本町4丁目7番地2	
代表者名	代表取締役 長坂 亘治	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	建築部	
担当者名	宮澤 保	
連絡先	TEL	0265-22-4588
	FAX	0265-52-0837
	電子メールアドレス	saburoku@avis.ne.jp
ホームページアドレス	'https://www.36kumi.co.jp	

1 産業廃棄物3R実践方針

ISO14001に基づいた当社EQマニュアル及び当社環境方針より、

「事業活動と地球環境保全が両立しなければならない事を認識し、社員のすべてが企業活動の中で、環境保全と環境負荷軽減に貢献する。そのために継続的改善に取り組み、汚染の予防に努め、地域社会に信頼される企業を目指す。」のもとに以下の取り組みを行う。

- ① 産業廃棄物の抑制を推進する為、各現場に減量化と適正処理について社内・協力会社とミーティングを行い意識の向上を図る。
- ② 積極的にリサイクル製品の使用を推進する。
- ③ 産業廃棄物処理業者との委託契約及びマニフェスト管理を適正に行い産業廃棄物を適正に処理する。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	令和 6 年度 目標値	令和 5 年度 実績値	令和 4 年度 実績値	令和 3 年度 実績値
総排出量の推移 (t・kg・m ³)	1820.00	2281.69	1078.18	2053.14
リサイクル量の推移 (t・kg・m ³)	1820.00	2281.69	1078.18	2053.14
売上高の推移 (円)	800,000,000	735,217,771	791,913,719	843,982,256

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・各現場で産業廃棄物の減量化と適正処理について協力会社とミーティングを行い意識の向上を図る。
- ・各現場で、廃棄物の分別を徹底する。
- ・工事開始前に再生材の使用があるか確認を行い、再生材使用の計画が無い工事でも、積極的に顧客と協議を行い再生材の使用に取り組む。
- ・毎月、現場の安全パトロールを実施し、一般ごみと産業廃棄物の分別の状況について確認と指導を行う。
- ・ISO14001にて構築されているシステムを活用し、廃棄物と二酸化炭素の排出量の削減に努める。
- ・長野県SDGs推進企業として掲げた環境活動を継続する。
- ・社内文書の印刷には裏紙を積極的に利用する。
- ・不適正処理が判明した場合は、直ちに関係機関に連絡を行うとともに、状況把握を行い、関係機関との連絡を密に取りながら、原因の究明についての協力体制をとる。

以下の観点も参考としていただいで構いません。(必要に応じ写真等を添付してください。)

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明(処理施設を有する場合)
- ・処理を委託する処理業者(施設)の現地確認計画
- ・従業員教育(研修)計画
- ・リサイクル促進に向けた取組(計画段階、実施段階での工夫など)
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法(自社処理を行っている場合)
- ・独自に取り組む事項
 - 代替素材への転換(化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと)、環境認証制度等の取得(環境 ISO 14001、エコアクション 21 等)、電子マニフェスト(公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター)の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	令和6年度 目標値	令和5年度 実績値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値
再生クラッシュチャー ン	100	93.9	97.3	76
再生アスファルト合 材	100	100	100	100
全 体	100	96.9	98.7	88